

御園小だより

平成25年7月23日
伊勢市立御園小学校

No. 68

校長室より

夏休みが始まってから、四日が過ぎました。お子様の様子はいかがでしょう。勉強などは計画通りに進んでいるでしょうか。

さて、子どもたちのいない学校は、とても静かです。午前中は、まだ学習会等に参加する子どもたちの声が聞こえてくるのですが、午後になるとしんと静まりかえっています。やはり、子どもたちの歓声が聞こえて、はじめて学校なんだとあらためて実感しました。



ところで、以前ホームページでご紹介したカラスウリの花なのですが、先日も早朝に見に行ってきました。不思議な形をした真っ白な花です。何度見ても不思議な花なのですが、



この花は雄株と雌株に分かれているそうです。当然のことながら、雄株には雄花、雌株には雌花しか咲きません。したがって、いくら花がたくさん咲いていても、片方だけだと実が付かないのです。実は昨年も実がなっているところを見たくて、何度もこの場所を訪れたのですが、とうとう実に出会うことはありませんでした。

たくさんの株から花が咲いていましたから、全部がどちらか一方ということはないと思うのですが……。もう一つ、去年何度も実を見に行ったのには訳があります。それは、このカラスウリの花が、もしかしたら「キカラスウリ」の花ではないかと思ったからです。キカラスウリはカラスウリより小さく、実が黄色いのが特徴です。それと、お昼になっても花がしぼまないとのことですが、私が昼前に見に行っても、何個かの花が咲いているのです。花をよく見ると、カラスウリとは、どこことなく違うような気がします。

今年の夏は、何とか実を見つけて、この疑問に答えを出したいと思います。わかりましたら、またご報告いたします。お子様の自由研究も、こんな疑問からスタートしてみると、興味を持って取り組めるのではないのでしょうか。

6年キャンプ



7月22日から23日にかけて、恒例のスクールキャンプが行われました。月曜日の昼から集まった6年生の子どもたちは、開会式のあとプールでのレクリエーションを楽しみました。この日も30度を超

える猛暑日でしたから、みんな気持ちよさそうにプールでのゲームに興じていました。

プールでのレクリエーションのあとは、いよいよ班にわかれての夕食準備です。飯ごう炊さんは初めての子も多く、火を点けるところから悪戦苦闘していた班もあったようです。それでも、さすがは御菌小の6年生です。みんな力で力を合わせながら、見事にカレーライスとご飯を炊きあげてくれました。5時にはほとんどの班が完成し、みんなでいただきますをして食べ始めました。「あっ芯がある。」とか「カレー粉の固まりが入っとる。」なんて声も聞こえてきましたが、みんなで食べる食事は、とてもおいしかったようです。



夕飯の片付けも終わり、7時15分からいよいよキャンプファイヤーの開始です。

赤々と燃える炎を見つめながら、楽しいひとときを過ごしました。子どもたちの瞳に映る炎を見ていると、今回のキャンプがきっといつまでも心に残る、よい思い出になったことと思います。締めくくりにみんなで花火をして、キャンプファイヤーを終了しました。

このあとは、もう一つのお楽しみの肝試しです。いつもの昼間の学校と違い、夜の学校は独特の雰囲気がありますから、始まる前から子どもたちの間には、一種の緊張感がありました。子どもたちの「悲鳴」と「歓声」が飛び交う中、無事に肝試しも終わりました。

そして10時過ぎに消灯・就寝です。男女とも冷房の効いた部屋が就寝場所でしたが、なかなか寝つけられない子も多く、静かになったのは真夜中だったようです。

6時半が起床時間でしたが、もちろんほとんどの子どもたちが、随分早い時間から起きていました。7時の朝の会では、多くの子どもたちが眠そうに目をこすり、大きなあくびを連発していました。

このあとパンとジュースで朝食をとり、いよいよ後片付けです。



それぞれ自分たちが使った場所や道具を片付けました。みんな疲れているのに、一生懸命手際よく片づけてくれました。おかげで予定よりも早い時間に終わることができました。このあとの閉会式で、キャンプの日程はすべて終了しました。

これまでの準備等、いろいろとお世話をおかけした6年生の保護者の皆様、ありがとうございました。